

商店街の活性化と まちづくり

今里 滋（筥崎まちづくり放談会）

ボランティア・市民団体・NPOというものをやっています。3つのNPOの理事長を務めております。それから、いろいろな市民団体やまちづくり協議会、ボランティア、アドボカシー、また、筥崎宮という神社で雅楽をやったり、「九大は移転するな」とか「新福岡空港はいらん」という署名運動をやったりして方々から嫌われています（笑）。

福岡市は昭和20年6月19日に米軍に爆撃されて、市域の75%が焼けたんです。でも九大のある筥崎は焼けなかった。理由は九大の農学部付近に米軍の捕虜収容所があったから。そのため昔からの街並みが残ったんですね。昔の街は道が狭もうございます。「大学通り」と言いますが幅員6mの道路に多い時は一気に5000台もの車が入り込めます。特に社会的弱者にとってはたいへん歩きづらい道ということになります。何で私たちが車を避けて、子どもや年寄りが危ない目に会わなければならないのか、ということから街づくりの問題に関わりました。

「まちづくり放談会」をつくったのは、区画整理で大きな道路が4本できることに



なった10数年前のこと。これは行政にまかせていたらだめだ、自分たちでまちづくりをやろうと、団塊の世代の男性たちが中心になって任意グループを結成しました。

“掟”は「しがらみ、肩書にとらわれず、言いたいことをいうが根に持たない。定例会は1人、2人でもやる。ノコミュニケーションと飲み友達を大事にし、しらふの時の約束は守らなくても、飲んだときの約束は守る。一度決めたイベントは必ず実行するんですが、構想は1週間前、企画は3日前、準備は前日」というように、“たいへんいいかげんな”団体だったんですね（笑）。

ところが、ふとしたことから、変身しました。中心街にあったスーパーが撤退し、マンションが建つことになったんです。しかし、マンションの1階はたいてい駐車場になる。そうなれば、まちのにぎわいが死んでしまうんですね。なんとかマンションに店舗をと働きかけると、「わかった。ただし、テナントは、おたくらが見つけてくれ」「まかしてください、私たちは顔が広いから」。ところが、全然集まらない。「どうするんや」。

たまたま、私の実家の土地が売れること

になり、そのお金で店舗スペースを買おう、となった。「民設の公共スペース、誰もが自由に使える空間」をめざし、「筥崎公会堂」と名付けました。

この中にコミュニティレストラン「カフェ万福館」をつくり、昨年9月15日オープンしました。ちゃんとした料理を出しています。

イベントをやると、お客さんが来る。レストランの売上も上がる。レストランは月180万の売上を予定しています。その10%を非営利事業に使うことにし、営利事業と非営利事業の好循環のモデルを考えてやり始めたわけです。どういう非営利事業をやるかという「オープンテラスひだまり」ということで、管理組合から尽き2万5000円で借りて、誰でも自由に休憩できるとして皆さんに解放したんです。また、福祉作業所などの製品の販売、お年寄りのためのコンサート、都市と農村の交流などもやっています。

2000年3月、NPO法人になりました。まちづくりの拠点ができたら、いろんな人が集まってきました。まず人と人とのつながりができ、それが面になり、ネットワークになってこういうことをやろう、ああいうことをやろう、町が面白くなる、というアイデアがあふれるようになってくる。こういうアイデアが社会を変える力になる、と実感しています。

2002年度は45もの市民公益事業をやろう、ということになったんですね。知的障害児の学童保育、地域通貨発行、第3世界ショップ開店、カーシェアリング事業など。シニアお助けネットワークを高齢者福祉生協と一緒にやろうと考えている。

今年10月に第2公会堂「きんしゃい公会

堂」もつくりました。商店街の空き店舗を月3万円で借り、自分たちで改装しました。この隣りに福岡県高齢者生協の東ステーションが入っています。ここでは、高齢者のインターネットサロン、留学生による子育て支援、障害児の学童保育などを行っています。

さらに、閉鎖した歯科医院を解体し、大家に金を出してもらってまちなか劇場「テアトルはこざき」を準備、1階は本格的なバーにしようとするので工事が進み、12月にできる。コンセプトは「表現によるまちづくり」。今、全国では「よさこい祭り」が流行ってますよね。その中の一つのチームで「BBC」（ビューティフル・ばあちゃん・クラブ）は平均年齢72歳。腎臓病とリウマチでほとんど「寝たきり」状態だったおばあちゃんが、「よさこい踊り」を九州中に教えまくって家に帰ってこない。「出たきり」状態になった。ここは200人の株主から5万円ずつ募集し株式会社設立中です。

九州電力から「カーシェアリング事業と一緒にやりませんか」という話もきて実現しました。これは電気自動車を使って初めています。11月1日に筥崎にステーションを置いています。コミュニティベースでカーシェアリングをやるのは日本でも初めてだと思います。大学内の新しい交通システムとして学生も積極的に取り組んでいます。

